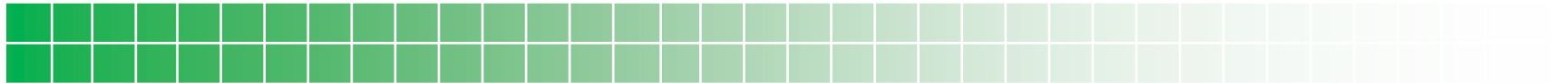


資料1



バリアフリー基本構想の情報保障について

■基本構想改定時における意見

▼パブリックコメント

(意見1)

概要版だから要約しわかりやすく記してもらいたい。ページもP4からP1となったり、字も小さく説明もわかりづらいです。

▼協議会の意見(令和4年度第4回協議会)

(意見2)

・障がい者にわかるようなダイジェスト版の作成もご検討いただきたい。

(意見3)

・視覚障がいの方への情報保障はどうするのか。

(意見4)

・外国人への対応として、翻訳機の活用とあるが、何か国語を対象としているのか。



情報保障の観点から多様な人へ伝わる工夫が必要

①

見ることに
困っている人

・全盲の人 ・ロービジョン(弱視)の人 ・お年寄り ・子ども 等

②

聞くことに
困っている人

・ろう者(全く聞こえない人) ・難聴者(聞こえにくい人) ・お年寄り 等

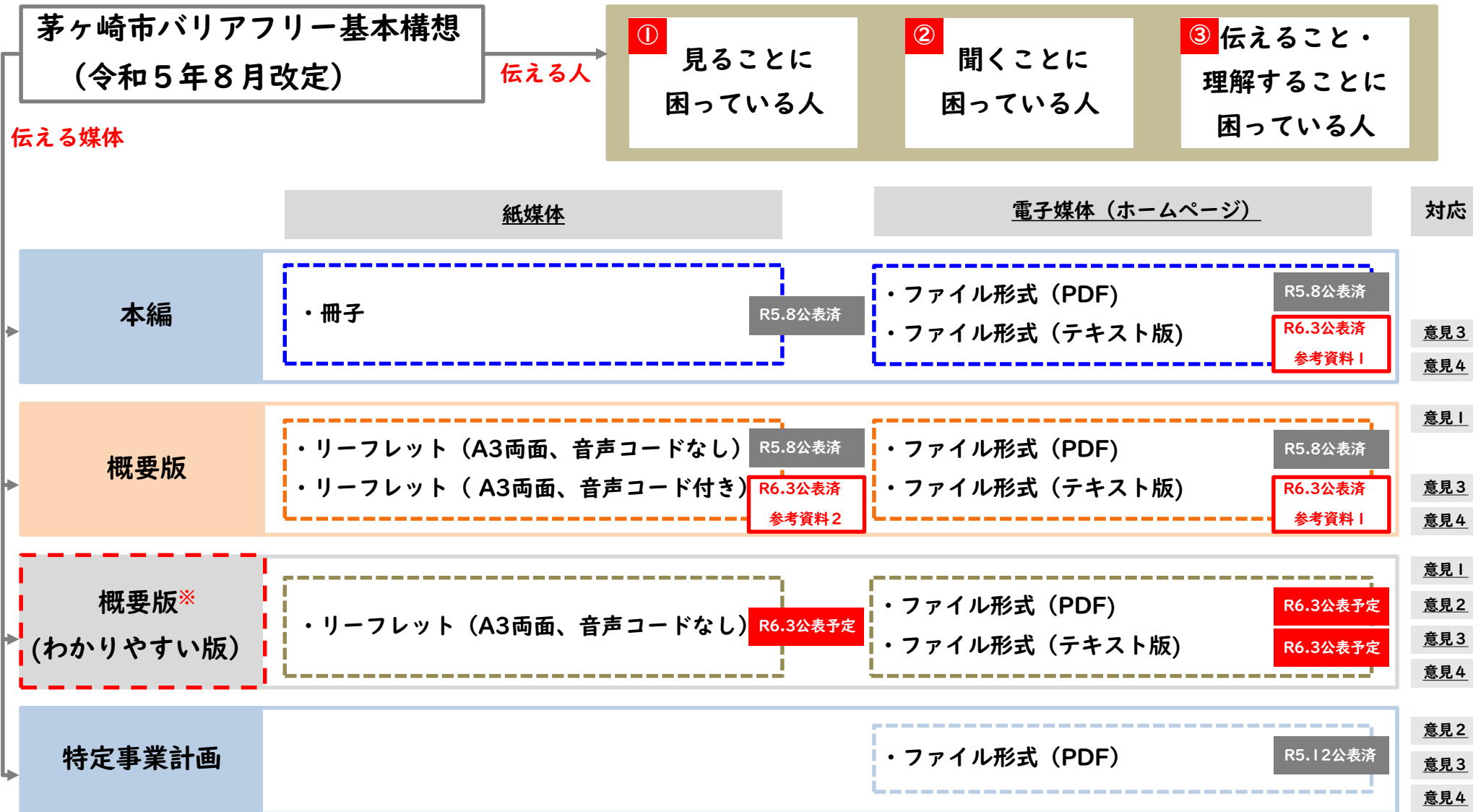
③

伝えること・
理解することに
困っている人

・日本語に慣れていない人 ・発声障がいのある人 ・知的障がいのある人 ・記憶障がいのある人
・言語、読み書きに障がいのある人 ・お年寄り ・子ども ・コミュニケーションが苦手な人 等



情報アクセシビリティの向上、情報バリアフリーの促進へつなげていく



※テキスト版 (参考資料1参照)、音声コード【Uni-Voice】 (参考資料2参照)
 ※概要版 (わかりやすい版) (案) について、議題とさせていただきます。(資料2参照)

概要版
(わかりやすい版)

紙媒体 (A3・1枚両面刷り)

・リーフレット

電子媒体 (ホームページ)

・ファイル形式 (PDF)

・ファイル形式 (テキスト版)

■作成の目的

- ・多様な人が情報を知る環境を構築するため
- ・バリアフリーを学ぶきっかけとなる補助教材として市内小学校で活用するため
- ・市民部会と一緒に進めている心のバリアフリー教室で活用するため

■対象

- ・小学4年生程度

■作成スケジュール

- ・1月31日(第2回協議会) : 骨子案 → 資料2参照
- ・2月 (書面での意見照会) : 素案(案) → 3月上旬に実施
- ・3月27日(第3回協議会) : 素案
- ・3月末 : 公表

■活用スケジュール(案)

- ・令和6年4月 市ホームページにより公表
- ・令和6年5月 市内小学校への周知、及び使用実績の追跡調査の実施
心のバリアフリー教室実施校での使用
- ・令和7年2月頃 使用状況のとりまとめ
- ・令和7年度 令和6年度取組事例の紹介を添えて、市内小学校への周知

バリアフリー基本構想概要版(わかりやすい版)について

■初稿に対する意見(全体)

【凡例】 赤色の文字 デザイン・イラスト関係
 青色の文字 文・校正関係
 黒色の文字 対応方針

全体

- ① **グレー**基調は弱視の方には見えづらい
 →白に限りなく近いグレーに変更する
- ② **赤色と茶色の組み合わせ**は見えづらい。
 →コントラストをつけることで対応
- ③ **緑や海は基調色(赤・茶)**に合わせない方がよい。
 →全体を単色で構成しているため、変更しない
- ④ PCなどでは読み上げづらい
 →順次テキスト版を作成します。
- ⑤ 「等・など」は「など」に統一してはどうか。
 →小学3年生習うため「等」に統一します。
- ⑥ 「まち・まちなか」の表現は統一してはどうか。
 →文脈に合わせて表現します。
- ⑦ 「ルビ」の対応はどうか。
 →ルビを振っても、わからない漢字が目に入ると、それだけで読むことをやめてしまう児童もいるため、小学3年生までに習った漢字のみを漢字表記とします。
 →タイトルにはルビを付けます。

バリアフリー基本構想概要版(わかりやすい版)について

■初稿に対する意見(1ページ)

【凡例】 赤色の文字 デザイン・イラスト関係
青色の文字 文・校正関係
黒色の文字 対応方針

上段

- ①本編、概要版と基調色を合わせたらどうか。
→本編・概要版との違いをつけるため、基調色を変えて対応します。
- ②白杖は通常の長さがよい。
→長さ調整します。
- ③やさしい版の方が適切ではないか。
→わかりやすいに対し、誤解を招く恐れがあるため、「やさしい版」に変更
概要版もタイトルのため、平仮名とします。
- ④SDGsのマークは必要か。
→小学校でもSDGsを交えて教えているため、記入しています。

中段

- ⑤「市には多くの人がある」優しく訴える言葉(表現)にしたらどうか。
→「いろいろな人がすごせるように」に修正します。
- ⑥「だれもが安心して過ごす」優しく訴える言葉(表現)にしたらどうか。
→「こまりごとをなくせるように」に修正します。

下段

- ⑦サザンCと海の高さを変えたらどうか。
→⑧と合わせ、デザイナーと調整
- ⑧生活のしやすさをイメージできるイラストがよい。
→生活のしやすさがわかるイラストへ変更します。
- ⑨「安心・くらしやすい・・・、ゆずる」は強調した方がよい。
→強調します。
- ⑩「よいことが増えます」イメージがつきづらい。
→「バリアフリーが進むとまちや人が変わります」に修正します。
安心する・くらしやすい・いどうできると修正します。

茅ヶ崎市バリアフリー基本構想
概要版(わかりやすい版) ①

③

④

「バリアフリー」のことばの意味

「バリア」は、体の不自由な人や高齢者などが生活するときに「さまたげになるものや障りこと」です。「フリー」は「取り除く、なくす」ことです。
この2つの言葉を組み合わせるのが「バリアフリー」です。
だれもが暮らしやすい社会をつくることを目的として生まれた考えです。

②

だれもが安心して過ごせるまちをめざして!

市には多くの人がある ⑤

市では、健康な人をはじめ、お年寄りや障がいのある人、子ども連れ、外国人などいろいろな人が暮らし、市を創れる人、働く人など多くの人があがっています。

だれもが安心して過ごす ⑥

まちの中にある「さまたげることや障りこと」になるものをなくす必要があります。

バリアフリーが進むと、まちのなかで良いことが増えます。

⑧

安心・くらしやすい・移動できる ⑨

⑩

お互いに助け合える・ゆずる

バリアフリー基本構想概要版(わかりやすい版)について

■初稿に対する意見(2ページ)

【凡例】 赤色の文字 デザイン・イラスト関係
青色の文字 文・校正関係
黒色の文字 対応方針

上段

- ①イラストについて、(1)は人、(2)は時計、(3)は地図の方が伝わりやすい
→(1)~(3)のアイコンを修正します。
- ②「取組を進んでいます」の表現の修正
→「進めていきます」に修正します
- ③「どれくらいの長さ」、「行うところ」の表現の修正
→「取り組む期間」、「取り組むはんい」に修正します。
- ④和暦・西暦の並記
→並記します。
- ⑤(1)~(3)の解説がわかりづらい
→見直します。

中段

- ⑥ハードの取組のイラストがバリアフリーのイメージと合っていない
→取組対象をイラスト化してるためイラスト修正は難しい。
- ⑦「ハードは、ソフトは」は、「ハードとは、ソフトとは」に修正し解説を追加。
→「ハードとは、ソフトとは」に修正し、解説を追加します。

下段

- ⑧働く人のイメージが伝わりにくい、協力しているイメージを強調、街なかを点検し、皆で話し合っている場面はどうか。
→協力しているイメージを強調、イラストの修正は難しい。
- ⑨「市だけでなく・・・進めます。」の表現を修正したらどうか。
→「市だけでなく、しせつをつくる人・しせつをかん理する人、し民がそれぞれ行うことを決めてきょう力して進めます。」
- ⑩「安全で住みよい街、バリアフリーを目指すには、みんなに役割がある」ことを追加表現したらどうか。
→表現を追加します。
- ⑪どう確認するかをわかりやすく示したらどうか。
→計画どおり進んでいるか市みんといっしょにかくにんします。



バリアフリー基本構想概要版(わかりやすい版)について

■初稿に対する意見(3ページ)

【凡例】 赤色の文字 デザイン・イラスト関係
青色の文字 文・校正関係
黒色の文字 対応方針

上段

- ① 2ページ中段と同じイメージに統一したらどうか。
→デザイナーと調整し、写真とイラストは別とします。
- ② 建築物、道路(歩道)、駅の解説を簡潔に表現したらどうか。
→市役所のちゅう車場から出入り口までの間に屋根を付け、雨にぬれないようにしました。
駅のまわりの歩道に、点字用ブロックをしいたりしました。
茅ヶ崎駅のトイレに、だれもがわかりやすい案内をせっちしました。

中段

- ③ 小学3年生で地図記号を学ぶため、取り入れても良いのでは。
→地図記号が小さくなり、認識しづらくなるため記載しません。
- ④ 下段との違いがわかるように「その1(オレンジ色)」など。
→違いが分かるように工夫します。

下段

- ⑤ 小学3年生で地図記号を学ぶため、取り入れても良い。
→地図記号が小さくなり、認識しづらくなるため記載しません。
- ⑥ MAPではなく、地図(ちず)の方がよい。
→MAPの文字を削除
- ⑦ イラストはハードの取組の表現なのか、整備促進地区の取組なのか。
→ハードの取組の表現となります。
- ⑧ 中段との違いがわかるように「その2(水色)」など。
→違いが分かるように工夫します。



茅ヶ崎市で行っているハードの取組

これまでの取組

- 建築物**
茅ヶ崎市役所は、新しく建て替え、施設全体をバリアフリー化しました！
車いす利用者等が車で行く時に、駐車場から出入口までの間に屋根を設置し、利用しやすいようにしました。
- 道路(歩道)**
駅のまわりの歩道をバリアフリー化しました！
ベビーカーや視覚障がいのある人等が安全・安心に移動できるよう点字用ブロックを敷いたり、ベビーカー等がガタガタしないような種類の舗装にしました。
- 駅**
駅の案内がバリアフリー化しました！
茅ヶ崎駅は、多くの人利用します。はじめて訪れた人や外国人などにもわかるよう絵と文字を使った案内を設置しました。

① ②

これからの取組 ④

- 市全部の範囲**
建築物や道路等が誰もが使いやすいようにバリアフリーを進めます。【48～55ページ】
例えば、道路、案内、施設や小学校等
- 人や建物等が多く集まる場所**
「重点整備地区」と言います。
茅ヶ崎駅や北茅ヶ崎駅の周り、お店に行くまでの移動や利用するときのバリアフリーを進めます。【58～160ページ】
例えば、公共施設(鉄道、バス、タクシー)、道路、歩道橋、建築物(市役所、大きなお店など)、駐車場、公園、海水浴場(サザンビーチ)
※ページ数は、バリアフリー基本構想の図面ページです。

③

これからの取組 ⑧

- 他の計画と合わせて進めるところ**
「整備促進地区」と言います。
茅ヶ崎駅や北茅ヶ崎駅の周りやまちづくりの計画と合わせ、バス等の乗り換えがしやすくなるようバリアフリーを進めます。【161～163ページ】
※ページ数は、バリアフリー基本構想の図面ページです。

⑤

⑥ ⑦

バリアフリー基本構想概要版(わかりやすい版)について

【凡例】 赤色の文字 デザイン・イラスト関係
青色の文字 文・校正関係
黒色の文字 対応方針

■初稿に対する意見(4ページ)



上段

- ①困っている感じ、喜んでいる感じを強調したらどうか。
→スロープを階段に変更し、人物の表情等を変更します。
- ②要点を簡潔にし、イラストと連動する内容とする方がよい。
→バリアフリーを進めるには、ソフトの取組も大切です。
まちなかにあるバリアに気づき、困っている人がいたら「何かお手伝いできることはありますか。」と声をかけましょう。

中段

- ③解説は、具体例を書いたりして、要点をまとめた方がよい。
→「理解する」、「マナー・ルールを守る」、「ゆずる」、「手伝う」とし、勇気を出して、声掛けをしてみよう(何かお手伝いすることはありますか。)と伝えたいことを示します。

下段

- ④解説は、多様な人と関わり取組の紹介と、市民への投げかけを書いた方がよい。
→手作りポスターをさくせい
まちなかにあるこまりごとを考え、手作りポスターをさくせいしました。
→心のバリアフリー教室を行う
しょうがいのある人と会って自分ができていることを考える、心のバリアフリー教室を行いました。
→みんなで声をかけ合い、安心して過ごせるまちをつくろう